

新春の集い 平成28年1月23日

於：ホテルグリーンタワー幕張

INDEX

新春の集い	1
臼井先生連載	2
新年抱負川柳	3
日常本音あれこれ	3
例会委員会報告	4
スケジュール/編集後記	4

1年のスタートは、大爆笑から



平成28年1月23日(土曜日)、今年初めての行事となる月星会の新春の集い(賀詞交歓会)がホテルグリーンタワー幕張で行われました。

今年の参加者は、会員51名、ピジター2名、ご招待のお客様7名の計60名。企画・運営をした親睦委員会の木内一晴委員長は、「皆さんのお声掛けによって盛大に開催することができました」と、笑顔で語っていました。

親睦委員会が打ち出した今年のキャッチフレーズは、「1年のスタートは笑顔から」。そのキャッチフレーズを実現すべく用意された目玉企画は、テレビでもお馴染みの一木(いちき)ひろしショーでした。

一木ひろしさんといえば、その芸名からもわかるように五木ひろしのものまねで一躍名を上げたものまねタレント。磨き上げた歌のうまさもあって、まるで本物の五木ひろしが登場したかのような雰囲気がありました。

ちなみに、一木ひろしさんは千葉県千葉市の出身です。地元でのよしみで多忙なスケジュールを調整して出演を快諾して下さったのでしょう。

以下、当日の様子はせれもの高橋通博会員による参加感想記によってお伝えします。(広報委員会)

圧巻！ 一木ひろしショー

昨年に引き続き今年も月星会の新春の集いに参加させていただきました。

親睦委員長木内さんの軽快で愉快的な司会に始まり、美味しいお食事に紺谷さんの三味線演奏、横田さんの踊りと新



年にふさわしい賑やかな演目があり、目玉企画の五木ひろしのそっくりさん一木ひろしさんのショーが始まると会場内は大爆笑に包まれて歌にトークにさすがプロだな〜と感じ食事の手も止まり見入ってしまいました。

臼井先生の楽しそうなお顔を拝見した時に、ふと去年の親睦旅行に行ったときに、穴倉龍子さんから「日出男先生はこの会をとっても大切に下さっているのよ」と聞いた言葉を思い出しました。

お年玉はくじで花束

臼井先生を囲み各議員先生方も一斉に顔をそろえてお話

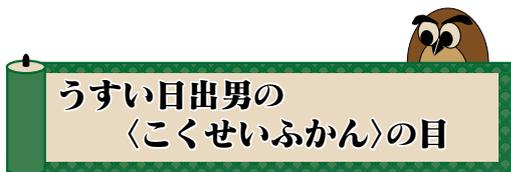
しをされ受付時に参加者全員に配られたくじで沢山の方に花束が当たり（私は当たりませんでした。泣）おみやげいっぱい！お腹いっぱい！笑いっぱい！と、とても楽しい新年会でした。

最後に輪になって手を繋いで歌った「日の出の男」で歌のフレーズ「白井日出男です！」と歌った時に繋いだ手を一斉に挙げた姿がとても印象に残っていて良い思い出となりました。親睦委員会の皆さまへ何もお手伝いをするのが出来なく申し訳ありません。月星会の更なる発展と皆さまにとって、私にとっても今年一年良い年になりますように……。

（セレモ・高橋通博記）



連載



憲法改正へ向けて —— 三度目の正直なるか？

最近、「日本の美しい憲法をつくる会」の会長を引き受けた関係で、憲法改正運動へ参加する機会が多くなった。先般も「こくせいふかんの目」に、戦後70年の現在が一番憲法改正に近い刻であるとの文章をお送りした。要は改革男・安倍晋三がリーダーでいること。既に衆議院は2/3を超える議席を確保しており、今年の参議院議員選挙で野党の改憲賛成グループも加えれば2/3を超える可能性があることをお伝えした。

だが、発議権を衆参で獲得するのが目的ではなく、国民投票で1/2を超える賛成を勝ち取ることが目的であり、皆様のご支援もお願いしたい。

戦後70年間、ただの一度も憲法改正をしなかったのは、極めて異常なことだが、調べてみると幾度か改正のチャンスがあったのに、日本国民は改正へのアクションをしなかったことがわかってきた。

日本がこうした国民性を有することを自覚することは大切なことだ。最初のチャンスは、戦後、GHQ・マッカーサー元帥が、GHQの上部組織としてソ連が主導する極東

委員会の横やりを縫うようにして避けながらつづいた憲法改正に対抗して、極東委員会決定として「憲法発効後1年を経て2年以内に」国会と極東委員会が新憲法を再検討することを決定したが、日本政府はあえてその権利を行使しなかった。

2度目のチャンスは、次の経緯にあった。日本に武力を持たせない考えのGHQは憲法第9条の武力放棄を規定したが、昭和25年の朝鮮戦争勃発で、方針を変更せざるを得ず、警察予備隊というカービン銃のみの軽装備の部隊を作ったが、やがて中国正規軍が参戦するに至り、ソ連の参戦も危惧されるに至り、この警察予備隊を戦車や重機を持つ本格武装集団「保安隊」に移管した。

ここに至りこの保安隊は明らかに警察予備隊と異なり、「軍隊」ともいえるものになったのに、当時の吉田総理は、あえて憲法改正をしなかった。

この二つの憲法改正のチャンスを逃した日本には、「重要なことでもあえて曖昧のまま事実を糊塗する性向がある」ことがわかる。

今回、まさに3度目の憲法改正のチャンスを迎えて、今度こそ、「日本人の日本人による日本人のための憲法」を創ろうではないか。



元衆議院議員 白井日出男

川柳に詠む、私の抱負・私の決意

応募作品と選考結果発表！

◎ 最優秀作品

月星会 夜出るたびに 名前借り
 選者講評 あなたも覚えがあるんじゃない？

池田 父（池田正勝）

◎ 優秀作品

熟考し 抱負決まると 除夜の鐘
 選者講評 なかなか決まらないよね！ 来年使ったら…

☆の王子さま（星野浩之）

◎ 準優秀作品

頓挫して 復帰の道で 夢拾う
 選者講評 人生に「夢」は必要だね。皆、夢を持つとうね。

金田敏彦

◎ 応募作品

今年こそ 痩せてやるぞと おかわりし
 暖冬の 初春に飛び交う 世界の情勢
 今年こそ 今年こそでも やせられず
 憧の たかねの花を 今年こそ
 夭夭の 東雲空に 光待つ
 今年こそ 今年こそとと 今年こそ
 今年こそ 今年こそでの 歳男（申歳）
 乗れるかな アベノミクスに 今年こそ
 今年こそ 絶対当てるぞ 宝くじ
 仕事でも ゴルフのように 頑張りたい
 いいかげん やめよう抱負の 使いまわし
 フルマラソン 昔はできた 二十代
 年初から 3日坊主が 抜けきれず
 申年は うまいビールと 良き焼酎
 初夢は サマージャンボと ロトワ

トリプルスリー（尾形文貴）
 字あまり恒吉（産方恒吉）
 まんだい（竹口満代）
 金田敏彦
 金田敏彦
 ☆の王子さま（星野浩之）
 山本康昭
 木村光慶
 木村光慶
 木村光慶
 K・I（伊藤公俊）
 やるやる詐欺（森本哲郎）
 アクアライン（森本哲郎）
 川名利夫
 川名利夫
 川名利夫
 川名利夫

※川名さんの3作品は、締切後の応募のため選考外

選者 総評

月星会初めての川柳大会で、力作をたくさん投稿していただき、ありがとうございます。よく「たかが川柳、されど川柳」と言いますが、面白い川柳には、思わずニヤリとするユーモアがあります。字余りは作のリズムを崩すので、避けるべきですね。会心の作が出来ること、止められなくなります。

白井日出男

会員さんの日常本音トークあれこれ

片野洋子さんの「見つけた春」の話



新年を迎え、我家ではまず墓参りするのが一年の計の始まりです。
 1番が父母の眠る墓、2番が私の主人の姉の夫（この人は福島から息子と同居するために家を買ひ、引っ越して来る日に倒れ入院、新しい家に一日も住むこともできずガンのため逝ってしまったのです。あの3月11日の悲しい出来事を少しも癒すこともできず、静かに眠っています）、私達はただ静かに手を合せました。
 3番目は、私の夫の眠る墓。さぞ草でいっぱいかもしれ

ない——。水をくみ墓へ。すると孫が「おばあちゃん、お墓にきれいな花が咲いてるヨ」。墓石の前の植木にあざやかなピンクの花が……私は目を疑いました。
 冬に咲くあんなきれいな花を植えた覚えがないのに。走りよった孫が「きれい。おばあちゃん、造花だよ！」「ホント、きれいだね！」。アハハ。みんなで大笑いしました。
 隣の墓は私達が世田谷から越してきた時に姉の家族と来世も仲良くらそうネ、と買ったものです。姉の墓にはまだ誰も眠っていません。墓はきれいに掃除されており、花と線香と、植木にあざやかなピンクの造花、姉のやさしい心が、私達家族にパーッと明るい“春”を運んでくれたことに感謝です。
 今年一年、また平穏無事な日々を送れそうな——。そんな新年の始まりでした。

例会委員会報告

12月例会 平成27年12月16日(水) 於:鮪割烹みどり

12月は忘年例会として、参議院議員の猪口邦子先生をお招きし、世界情勢と日本の役割について存分に語っていただきました。

日本の提案によって国連で全会一致で採択された「津波の日」の制定にあたっては、各国の大使館をまわって説得をされたそうです。

昨今多発するテロについては、組織が生まれる背景として子どもへの医療の欠如、小型武器の流通をあげ、乳幼児死亡率を改善するなどのベーシック・ヒューマンニーズに対する国際的な支援、ODAの強化が必要と説かれていました。

「難しい国際問題でも本質的な分析をすると、対策は一、二点に絞られてくる」という言葉に、国際政治学者として培ってきた猪口先生の政治に賭ける信念を強く感じるお話でした。

参加者は、会員35名、ビジター 14名、卓話講師を含めて50名でした。



2月例会 平成28年2月25日(木) 於:鮪割烹みどり

2月の夕食例会は、鍼灸整骨院を中心に福祉・医療の分野で手広く経営をされている矢島実様による卓話でした。

オリンピック/パラリンピックでメダル獲得を目指すトライアスロンのトレーナーとしても活躍されているほか、様々な立場の人々の治療に携わってきた経験からの気付きをもとに各地で講演活動も行っているそうです。

「恋する男は100歳まで生きる」という大変前向きなテーマで、体と心はつながっていて、「お金の悩み」「失恋」「怒り」などの感情が、背骨の特定の部位の痛みに影響していること、長生きの秘訣は脳幹の活性化にあり、「歩く」「感じる」「バランスをとる」ことで、生命力が高まり、食欲、睡眠欲、そして性欲が増すというお話でした。また、男女の問題解決法の違いを「別の惑星から来ている」と表現され、「奥様の話をよく聞くこと」の大切さにも触れてもらいました。

参加者は、会員24名、講師1名の25名でした。

(12月、2月共、門山事務所・石原裕久)



研修委員会報告

勉強会&懇親会 平成28年2月5日(金) 於:千葉商工会議所

「千葉市の都市計画を知る勉強会」と銘打って、元千葉市副市長の林孝二郎氏を講師にお迎えして、お話をうかがいました。

林氏が主となり、これまで千葉市の都市計画に携わった多くの方々の手によって執筆された書籍「千葉市の街づくりに携わって～100万都市の基盤はこうしてできた～」をテキストに用い、戦前・戦中の埋め立て時代から、急速な人口増加への対応など、当時の様子を生々しく、かつ軽快な語り口でご説明いただきました。

私達が暮らす千葉市がどのようにして現在の形になってきたのか、その背景も含めて今回勉強できたことで、来る3月19日の第2回経営研修会では「千葉市の未来」について、私達自身で考え、語り合う場にしていきたいと改めて感じました。

第2回経営研修会は千葉市副市長の鈴木達也氏もお迎えしてお送りします。今回ご参加いただいた皆様はもちろんのこと、ご参加の叶わなかった方にも興味を持っていただける内容ですので、ぜひご参加ください。

勉強会は、会員26名、ビジター6名、計32名の方々にご参加いただきました。(研修委員会委員長 桐谷美千子)



3月～4月のスケジュール

3/2(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
3/19(土)	第2回経営研修会	受付13:30 開会14:00 ホテルグリーンタワー幕張 4F	講演:「選ばれる都市 千葉に向けて」 14:00 講演 15:00 パネルディスカッション 17:00 懇親会 参加費 懇親会 会員5,000円 ビジター6,000円
3/24(木)	夕食例会	18:30開会	鮪割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター4,000円
4/2(土)	春の宴「観桜会」	猪鼻山～割烹鳥悦	集合時間18:00 千葉城 参加費 会員4,000円 ビジター5,000円
4/6(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
4/28(木)	夕食例会	18:30開会	鮪割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター4,000円

編集後記

会員の皆さんに少しでも楽しく紙面づくりに参加していただければ、と企画した川柳でしたが、いざ自分でも考えてみると、17文字で抱負を表現するのはとても難しかったです(短歌にすればもう少し応募も増えたかも?)。でも制約があるだけに、面白みもありますね。これをきっかけにハマってしまいそう!? (森本)